

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	診療記録	科目区分	時間	回数
担当講師	佐藤 正子	初級	60分	--

講義概要

診療記録（診療録および診療に関する諸記録）の管理については、法令により定められている。保管媒体（紙、電子保存記録）に限らず、関係する法令を理解し、遵守することは重要である。診療情報管理士が知っておくべき法規について、種々の診療記録をとりあげ、記載ならびに保有義務、法改正の要点を含め再確認するとともに、診療記録の開示を行ううえで重要とされる個人情報の守秘および保護に関する法規についてもふれる。また、保険診療上の観点から、根拠とされる記載等について示す。

講義の目標

- ・ 各種診療記録の関連法規について理解する。
- ・ 個人情報の守秘および保護に関する法規について理解する。
- ・ 診療報酬上の診療記録記載の要点について理解する。

講義内容

1. 診療記録の記載および保有に関する法規について
2. 診療記録の守秘および保護に関する法規について
3. 診療報酬上根拠とされる記載について

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	医療情報システム	科目区分	時間	回数
担当講師	盛永 剛	初級	60分	--

講義概要

日本の医療情報システムの歴史は、1970年代に医事会計システム、1990年代にオーダエントリーシステムが医療機関に普及し、1999年4月22日付の厚生省健康政策局長、医薬安全局長、保険局長の連名による通知「診療録等の電子媒体による保存について」により、診療記録の電子媒体による保存が認められことから、2000年代に全国で電子カルテを導入する医療機関が増加している。

診療情報管理士は、アナログの診療記録からデジタルの診療記録に管理対象が変化している昨今、部門システムも含めた医療情報システム全体の状況を把握せずに、診療記録の管理をすることが困難となっている。

本科目は、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づき、診療記録を電子保存する際に求められる要件について解説し、電子カルテ時代の診療記録管理のあり方をアナログの診療記録との相違点と合わせて学習する。

講義の目標

- ・紙の診療記録と電子保存対象記録の管理方法の違いが理解できる。
- ・電子保存対象記録の管理に必要な知識を習得する。

講義内容

- 1.医療情報システムとは
- 2.オーダエントリーシステムから電子カルテ普及までの歴史
- 3.診療録管理体制加算と医療情報システムの安全管理に関するガイドラインについて
- 4.電子保存の3要件について
- 5.代行入力について
- 6.承認機能について
- 7.記事の秘匿やアクセスログ管理について
- 8.スキャンデータやスキャン後記録の取り扱い
- 9.病名オーダと病名マスタの管理について

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	診療報酬	科目区分	初級	時間	60分	回数	--
担当講師	初山 貴						

講義概要

医療機関は、専門職種が役割分担によって医療サービスを提供する労働集約型産業である。医療機関の収入は、これらの医療サービスの対価を診療報酬によって担保され、収入の大半を占めていることから、どの職種であろうと、収入源である診療報酬の学習は欠かせない。

また、診療情報管理士は、診療情報を管理する立場から、医師等から発生する診療情報がどのように診療報酬点数表に定める診療行為に変換され、請求されるのかを理解する必要がある。本科目は、記載された診療記録（伝票・オーダリングシステムを含む）からレセプトが作成されるまでの関連性を診療区分ごとに診療情報管理士の視点から学習する。

講義の目標

- ・診療報酬制度の概略が理解できる
- ・DPCコーディングや疾病登録業務に必要な医事データの見方が理解できる
- ・保険診療録に記載が必要な情報が何かを理解できる

講義内容

1. 診療報酬とは
2. 医療行為からレセプトが作成されるまで
3. 診療記録（伝票・オーダリングシステムを含む）とレセプトの関係について（診療区分ごと）
4. 保険診療録と診療報酬について
5. D P C 点数表・診療報酬点数表と診療記録の関係について

2015年度 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	D P Cコーディング	科目区分	初級	時間	60分	回数	--
担当講師	近藤 保						

講義概要

I C Dの利用については、病院における患者の疾患構成等を把握するために使用されていたが、D P C制度の導入により、診療報酬請求及び様式 1 データの提出目的で使用されるようになった。また、DPC/PDPS傷病名コーディングテキストが公開されたことにより、D P C請求におけるI C Dコーディングについては、標準化が進んでいる状況にあるが、第一巻の総論のルールとD P Cコーディングルールの違いについて診療情報管理士のなかで十分に理解されているとはいいがたい。本科目は、第一巻総論とDPC/PDPS傷病名コーディングテキストに基づいて、主要病態選択ルールとCase Mix区分に関する考え方の違いについて学習する。

講義の目標

- ・主要病態選択ルールとCase Mix区分及びコーディングテキストにおけるコーディングの違いについて理解できる
- ・制度によるコーディングの違いを理解し、情報の2次利用の際にどのデータを使用するかを理解できる

講義内容

- 1.DPCとは
- 2.主要病態選択ルールについて
- 3.Case Mix区分の考え方について
- 4.疾病登録とD P Cのデータの使用方法的違いについて
- 5.情報の活用の観点からコーディングの相違点について考える